

鳥栖・三養基西部溶融資源化センター解体撤去工事

(ダイオキシン類ばく露防止対策要綱に基づく焼却施設解体工事)



発注者：鳥栖・三養基西部環境施設組合

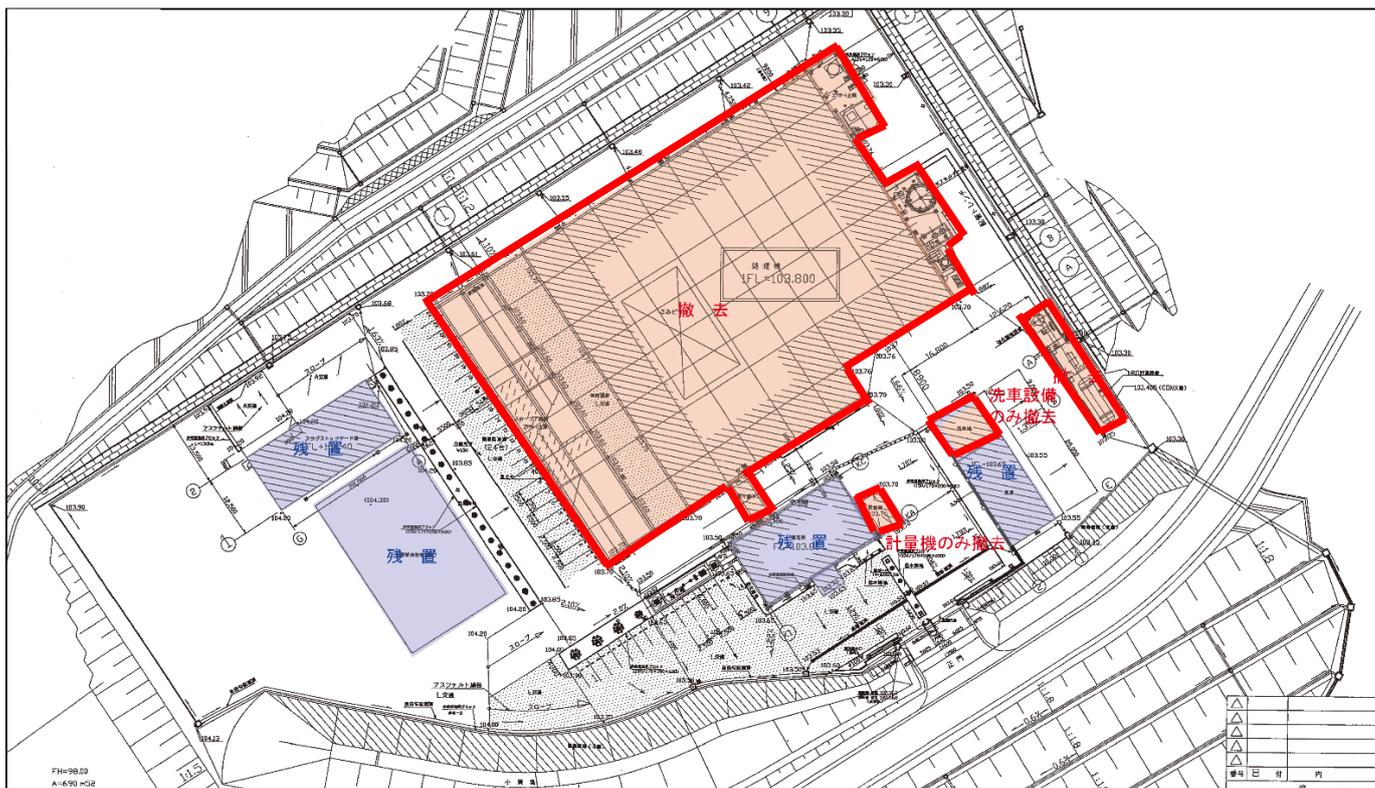
監理者：八千代エンジニアリング株式会社

施工者：村本・篠原共同企業体

(村本建設株式会社・株式会社篠原建設)

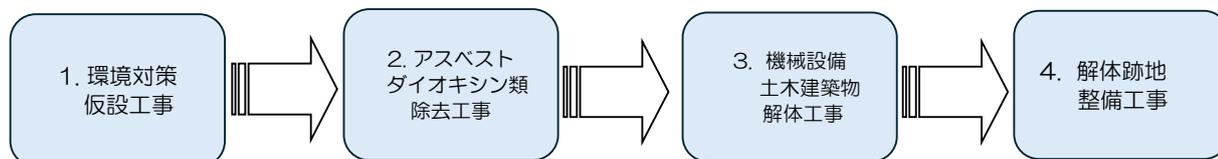
工事概要

- 工事名称：鳥栖・三養基西部溶融資源化センター解体撤去工事
- 工事場所：佐賀県三養基郡みやき町大字簗原4372番地
- 全体工期：令和6年12月2日～令和8年12月28日
- 施設概要：処理能力；132ト/日（66ト/日×2炉）
 - ・ 処理棟；鉄骨造、鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造
延床面積 8626.43㎡
 - ・ 渡り廊下；鉄骨造
延床面積 27.58㎡
 - ・ 煙突；高さ59m 内筒：鋼管・外筒鉄筋コンクリート造
 - ・ その他付帯施設；液化窒素設備・LPガス貯蔵設備・計量機・洗車設備



作業概要

解体工事の進め方は以下に示すとおりです。



周辺環境対策

環境対策仮設工事

①作業場所の分離・養生

- ダイオキシン類を含む残留灰の除去作業及びプラント設備解体作業時は、建屋の開口部・換気口等をテープ又はビニールシートなどで塞ぎ密閉を行います。また作業場内部は、除じん機能を有した負圧集じん装置により負圧に保ち、内部の粉じんが外部に流出しないようにします。

②汚水拡散防止養生

- 作業場の床面は、土間コンクリートを打設することにより、作業で発生する汚水が土壌中へ漏出浸透するのを防止します。なお、床面は必要に応じコンクリートブロックの防液堤を設け、汚水の流出を防ぎます。

※写真はイメージです



開口部養生(7ド ファ)養生



開口部養生(窓・扉養生)



漏水防止防液堤



大型負圧集じん装置



水処理装置

残留付着灰の除去工事

- 解体工事に先立ち、各設備に付着したダイオキシン類を含む付着物を高圧洗浄により取り除きます。
- 作業時は、防塵防毒マスクや保護服を着て作業を行います。
- 洗浄作業に伴い発生する洗浄排水は、水処理装置で処理し、循環再利用を行います。処理後の最終残水は、産業廃棄物として適正に処理を行い、外部への放流は行いません。



高圧洗浄による付着物除去作業



付着物除去前



付着物除去後

アスベストの除去工事

- 処理棟建屋内部及び外壁に使用されているアスベストを含んだ建材は、その建材の性状に応じたアスベストを飛散させない工法により除去を行います。
- 作業時は、防塵マスクや保護服を着て作業を行ないます。



ディスクグラインダーを使用した
外壁塗材の除去作業



非アスベスト面での切断に
よる配管等の撤去作業



湿潤・手ばらしによる
内装材の撤去作業

解体工事

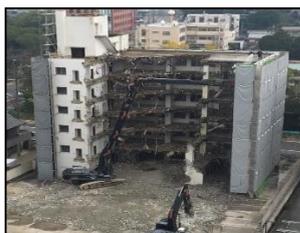
- プラント設備の解体作業は、負圧管理のもと密閉された建屋内で実施し、解体作業により発生する粉じんを外部へ流出させることの無いように実施します。
- 建物の解体作業は防音シート等により囲い込みを行ない、散水により粉じんの飛散を抑制します。



設備解体作業



設備解体完了



建物解体作業



土間・基礎解体作業

環境調査

- 解体工事による周辺環境への影響の確認、労働安全及び廃棄物の適正処理を目的として、大気測定、土壌調査、作業環境測定、粉じん測定、騒音・振動測定、付着物・廃棄物調査等の調査を実施します。



大気測定



土壌調査

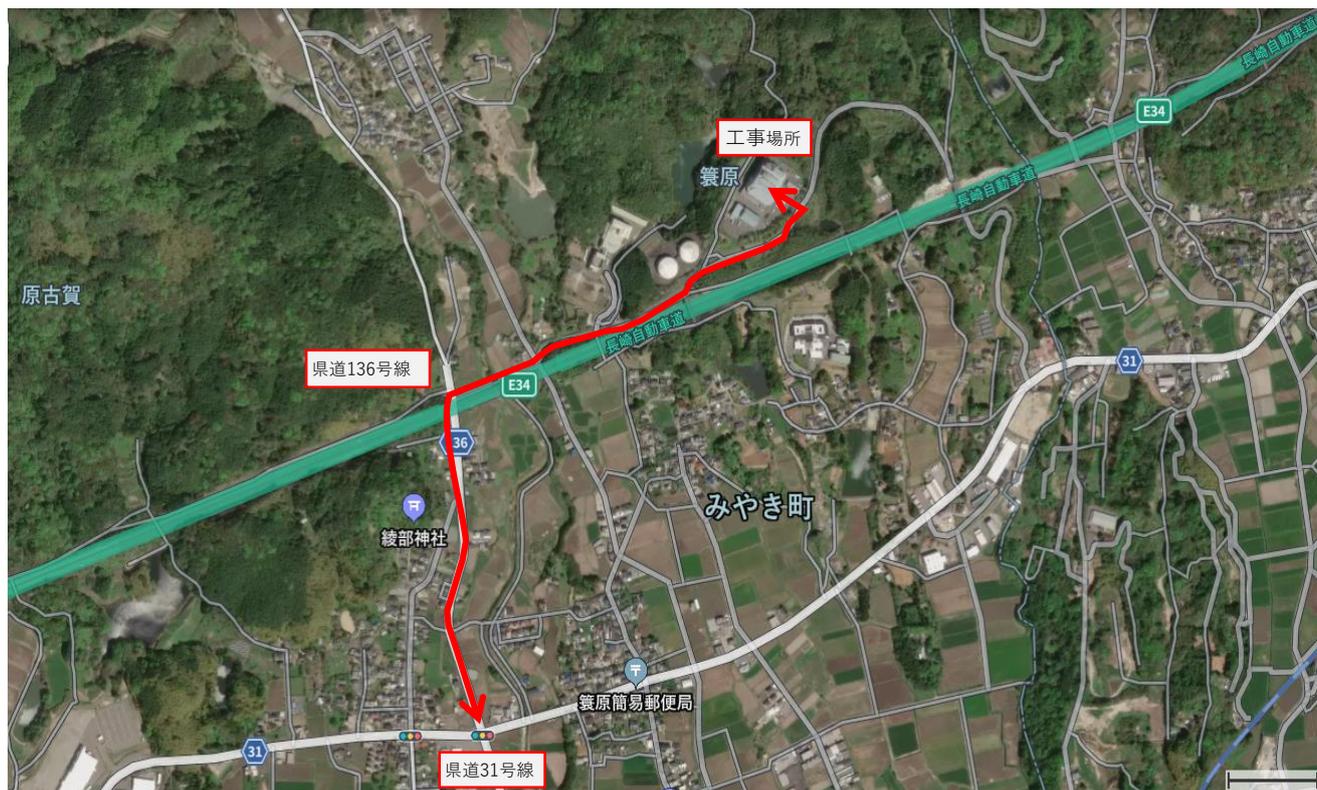


作業環境測定



付着物・廃棄物調査

工事車両運行ルート（案）





発注者：鳥栖・三養基環境施設組合
TEL 0942-81-8153
FAX 0942-81-8154
メール tosu-miyakiseibu@3r-manabi.jp

施工者：村本・篠原共同企業体
(村本建設株式会社・株式会社篠原建設)